

平成 31 年 4 月の市民の声（全 9 通のうち 8 通）

◇市民バスについて

【ご意見・ご提案など】

夏休みなどの長期休みに、習い事やディスプレイ通いに公共交通手段を利用させたいと考えています。路線バスや市民バス、JR も含め検討していますが、市民バスについて確認したい事がありましたので、質問させていただきます。

1：城内コースと大崎コースの、魚沼荘での乗り継ぎ

ディスプレイに最も近いバス停が「城内コース」の「銭淵公園入口」。夏の昼間は 35℃位になる為、できれば「銭淵公園入口」から時間がかかっても乗り継ぎしながら浦佐あたりまで帰ってこられたらという希望です。旧大和地区方面への「大崎コース」と合流するバス停が「魚沼荘」でした。乗り継ぎ可能なのか時間を確認した所、同時刻の到着出発が 2 便ありました。同時刻だった場合乗り継ぎって可能なのでしょうか？

時間の余裕があった所で、小学生が魚沼荘で時間をつぶす事も難しく、市民バスの乗り継ぎポイントが公民館などだと大変助かるなあと思ったりします。

2：三用コースと赤石コース

茗荷沢新田は赤石コースのバス停ですが、昨年末に子どもが基幹病院まで行こうと待っていると、バスが止まったのでそれに乗り込みましたが、どうも赤石コースではなく、三用コースでした。「ちゃんと基幹病院まで行くから大丈夫だよ」と運転手さんが教えてくれたので、安心して乗っていたとの事だったので、私は「茗荷沢新田のバス停では三用コースにも乗れるんだ！」と思い、時間とルートを調べてみました。

三用コースは浦佐駅まで行くので「これは助かる！」と思ったのですが、茗荷沢新田のバス停に停車するようにはなっていないのでした。あの日は雪がすごかったから運転手さ

んが乗せてくれただけなんではないでしょうか？それとも、三用コースが通過するような時間に茗荷沢新田に立っていれば乗せてもらえるのでしょうか？茗荷沢新田からも三用コースにも乗車できるならば浦佐駅西口まで行けるのでとっても助かると思いました。

3：下原～麓までの区間

ディスポートからの行き来でいつも頭を悩ますのが市民バスも路線バスも下原～麓までの区間に一切交通手段がない！という事なんです。

そして、ディスポート前からのバス停で乗車できるルートはすべて291号線上では下原どまりでみんな山口方面へ向かいます。そこで乗り継ぎをとっても下原～麓までがなく、子供を待たせておける図書館もないため、ここでいつもゲームオーバーな気持ちになってしまいます。ディスポートから基幹病院までの（もしくは浦佐駅もしくは赤石方面）の良乗り継ぎ案はありませんか？ディスポート前⇒六日町駅まで戻る（バスでも徒歩でも）ってのいうが一番良いのでしょうかね？

長くなりましたが回答頂けると助かります。

お忙しいのにすみません。また質問するかもしれませんがよろしく願いいたします。

（平成 31 年 4 月 8 日）

【お返事】

1：城内コースと大崎コースの魚沼荘での乗り継ぎ

市民バスの城内コースと大崎コースは、魚沼荘に停留所を設置してあります。両コースの一部の便は、出発時刻を同じ時間に設定していますので、時刻通りにバスが運行されれば乗り継ぐことが可能です。しかし、城内コースの市民バスが、信号待ちなどの交通状況により遅れるケースが見受けられます。

また、バスの運行中、運転手同士が連絡を取り合う手段が

ありません。そのため、出発時刻になると、それぞれのコースのバスは発車してしまい、魚沼荘で両コース間を乗り継げないことがあります。乗り継げなかった場合、魚沼荘付近から大和方面に向かう他の公共交通が乏しいことから、小学生が利用する乗り継ぎとしてはあまり推奨できません。現在、市民バス城内コースの時刻表の変更について運行事業者と協議していますが、直ちに変更することは難しい状況です。

2：三用コースと赤石コース

三用コースの市民バスは、小千谷観光バスが運行しています。三用コースは、茗荷沢新田にバス停を設置していません。現在、市民バスは各コース上に設定されたバス停以外では、バスに乗車することができません。よって、茗荷沢新田バス停で三用コースのバスに乗ることはできません。当時の状況を把握することができないことから、なぜ三用コースの市民バスが茗荷沢新田で乗客を乗せたのかは不明です。

現在、茗荷沢新田のバス停に停車する市民バスは赤石コースのみです。赤石コースは、ゆきぐに大和病院を起点に運行しており、浦佐駅に乗り入れていません。

茗荷沢新田から浦佐駅に向かう場合、路線バス「六日町＝野田＝五日町＝大崎＝浦佐線」をご利用いただくと便利です。この路線バスは、五日町と野田を経由して六日町駅まで行くこともできます。また、茗荷沢農協前バス停から「羽根川＝小出＝荒金＝浦佐線」をご利用いただいても、浦佐駅、基幹病院に向かうことができます。

3：下原～麓までの区間

ご指摘のとおり下原から麓までの間は路線バスの路線の設定がありません。

バス事業者が設定する路線バスの路線については、なるべくコースが重複しないよう設定されます。南越後観光バスが運行する大和地域と六日町地域を結ぶ路線バスには、国道17号を通る路線と、六日町駅から野田、五日町、大崎を通る路線があります。また、国道291号には、六日町駅から山口に向かう路線の設定があります。坂戸から国道291号を通

って大和地域に行く路線を設定すると、六日町＝上原＝山口線とコースが重複してしまいます。そのため、坂戸から国道291号を通過して大和地域に達する路線の設定がなく、下原と麓の間に路線が設定されていないものと推測されます。

公共交通である路線は、地域間をなるべく短いルートで速達性をもって繋ぐべきだという要望については理解しています。いただきましたご意見も参考にしながら、今後の公共交通の見直しについて検討していきます。

ディスポートまでのルートのご提案

ディスポートの前に路線バス「六日町＝上原＝山口＝八海山スキー場線」のバス停「ディスポート前」があります。六日町駅とディスポートの間は、この路線バスを利用すると歩く距離も短くなります。また、六日町駅に隣接して南魚沼市図書館があり、電車や路線バスの乗り継ぎの待合にご利用いただけます。小学生の利用を考えると、六日町駅を乗り継ぎ地点にすることが良いと思います。

また、大和地域と六日町地域間の移動は、電車や路線バス「六日町＝浦佐＝小出線」「六日町＝野田＝五日町＝大崎＝浦佐線」があります。電車やバスの乗り継ぎの時間などの問題がありますが、活用いただきたいと考えます。

(担当：都市計画課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇職員 の 窓 口 対 応 に つ い て

【ご意見・ご提案など】

先日、確定申告に大和庁舎に来た際、職員に書き方を聞いたら終始上からものを言われ、あげくに「あなた障害者でしょ、ここにこの数字を書いて」と大きめの声で言われました。周りに人もいたし、好きで障害者になった訳ではありません。市役所の窓口立つ方がそんなにデリカシーのないことを言うなんて本当に残念です。ほかの方にはもっと優しくしてあげてください。

(平成 31 年 4 月 8 日)

【お返事】

この度は、職員 の 窓 口 対 応 で 不 快 な 思 い を さ せ て し ま い、深くお詫びを申し上げます。また、至らぬ点をご指摘いただきありがとうございます。

職員には、お客様の立場に立って「明確で丁寧なわかりやすい説明」、「プライバシーに配慮した対応」等を指導しています。今回のような不適切な対応があったことを重く受け止めています。

今後、このようなことが無いよう改めて接遇指導等を行い、市民の皆様から快く安心して窓口を利用していただけるよう、職員 の 資 質 向 上 に 努 め、お 客 様 の 満 足 度 の 高 い 接 遇 を 心 掛 けてまいります。

(担当：大和市民センター)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇乳幼児健診時の絵本について

【ご意見・ご提案など】

乳幼児健診時の待ち時間には必ず『絵本』が用意してあり、本に触れる機会を設けていますが、毎回用意されている絵本が同じだったり、切れている絵本があったり、古い絵本があったり、3歳児なのに0歳～2歳児向けの絵本が用意されています。

南魚沼市教育委員会では子ども読書活動推進計画を策定されており、駅前には南魚沼市図書館が誕生し、子どもから大人まで市民の皆さんから愛される図書館がありながら、この現状がずーっと続いているのはどうかと感じています。

乳幼児期からの本との触れ合いの大切さについて啓発活動を行っているのなら、健診時での少しの時間を活用し、紙芝居や読み聞かせをしてあげたり、図書館から年齢に適した絵本を借りてきて用意してあげたりと、乳幼児健診時での取り組みを見直していくべきではないかと感じます。

(平成31年4月8日)

【お返事】

市では、乳幼児健診（以下、健診）の待ち時間に絵本に親しんでいただくため、健診会場に絵本を用意しています。しかし、ご指摘のとおり健診対象児の年齢に合わせた絵本の用意ができておりませんでした。今回のご意見をもとに古い絵本を処分するとともに、健診対象児の年齢に合わせた絵本を用意します。

絵本の読み聞かせにつきましては、4か月健診で行っているブックスタート事業の際に実施しています（健診の状況により実施できない場合があります）。今後は、新たな絵本を用意することや読み聞かせの実施などについて検討していきます。

(担当：保健課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇カブトエビについて

【ご意見・ご提案など】

南魚沼には水田がたくさんあるのに、カブトエビを一匹も見ることがありません。なぜいないのですか？

(平成 31 年 3 月 12 日)

【お返事】

昔の田んぼには、たくさんの生き物が見られました。しかし、高度成長期以降、宅地化の進展や圃場整備などによってそれまで生息していた環境が変化していきました。また、除草剤などを頻繁に使用し始めたころから、カブトエビを含む多くの生き物が田んぼで生息できなくなりました。

現在、南魚沼地域でカブトエビの生息は確認できていません。カブトエビは、田んぼに水が張られてからほんのわずかな期間だけ発生します。発生する期間が短いことが、カブトエビの個体を確認しづらくしているのかもしれない。しかし、「津南町には生息している」という情報があります。

カブトエビは、4億年も前の地層から今と同じ姿の化石が見つかるなど、生きた化石とも呼ばれます。かつては、この地域でたくさん見られた身近な生き物です。市内でも、長い間使用されなかった田んぼなどを探せば、発見できるかもしれません。発見した際には、写真などを撮って理科センター（電話 773-6702）へご連絡いただくと幸いです。

(担当：学校教育課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇ 銭淵公園の管理について

【ご意見・ご提案など】

本日天気も良かったので銭淵公園に子どもと遊びに行きました。レジャーシートを広げて子どもと遊んでいたところ、男性が1人近づいてきて、おもむろになにかを撒き始めました。気になったので男性に尋ねたところ「除草剤です。」とさも当然のように答えられました。

子どものそば1メートルの距離で、除草剤を撒くとはなにを考えているのでしょうか。健康被害を考えすぐに荷物をまとめて帰らなければならなくなりました。非常に残念です。子育てについて市民全員が考えるようにならないと子育てしやすい街には絶対にならないと思います。

以下二点要望です。

1. おそらく市が管理委託していると思いますが、どこの業者ですか？
2. 少なくとも市が関わる業者には子どもがいる場合や子どもを想定した配慮をするよう呼びかけて下さい。今回のケースであれば、少し気を遣えば、仕事優先でなく利用者がいる部分は後回しにするなどどうにでも考えられるのではないのでしょうか。

(平成31年4月17日)

【お返事】

ご意見をいただきました銭淵公園除草剤散布の件につきまして、当然行うべき配慮ができておらず、不快な思いをさせてしまい大変申し訳ありませんでした。

除草剤の散布に当たっては、管理を委託しております公益社団法人南魚沼シルバー人材センターに、風向きに注意するなど飛散防止に配慮するよう指導しております。今回の件を受け、周辺状況への配慮やマナーの遵守を徹底するようあらためて指導しました。

今後も、子どもからお年寄りまで、自由に憩えるスペースであることを十分に認識し、管理作業においても安全面に配慮し、常に快適で安心してご利用いただける公園になるよう

努めてまいります。

(担当：都市計画課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇議場への案内表示について

【ご意見・ご提案など】

3月5日（火）午後から初めて議会の傍聴に行き、エレベーターを使用して3階に行きましたが、通路に案内がなく迷ってしまいました。議場への矢印などがあったら親切かと思います。

わかりやすくしてください。

（平成31年4月17日）

【お返事】

本庁舎のエレベータを降りたところには、各階ごとに案内表示を設置してあります。しかし、ご指摘いただいたように、現在の案内表示には議場の傍聴席の位置や入り口などの表記がなく、わかりにくくなっていました。

ご提案を受け、既存の案内表示の改善や新たに表示板を増やすなど、庁舎内のわかりやすい案内表示に努めてまいります。

（担当：財政課）

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇市報での令和表記について

【ご意見・ご提案など】

会計年度や学校の年度は、4月1日から始まる。

年度は4月1日からの一年間である。（平成31年4月1日から令和2年3月31日）

従って、平成31年4月1日から平成31年度となる。

令和元年度は存在しない。なぜ、市報という公な広報誌でこのようなミスをするのか理解できない。誰もチェックできないのか？情けない。

令和元年度が存在するとすれば、令和元年5月から始まる年度となる。（令和元年5月1日から令和2年4月30日）このような年度は、実際にはほとんど存在しない。

南魚沼市は5月からの会計年度になったのか？そんな年度は存在しないはずです。

即刻全市民に訂正とお詫びの広告を出すべき恥ずかしい案件です。

政府の会計年度が5月1日以降、作成される文書で4月にさかのぼって当年度を令和元年度にするとの発表があったことは知っています。

広報の日付は5月1日ですが、4月中に作成されWEBで公開されているのに令和元年度というのはありえません。

5月1日以降に作成されるということが、この発表の肝です。4月中に令和元年度と表記されることはありえません。

（平成31年4月29日）

平成31年度と令和元年度について、確認をしたものです。メールの返事がありません。早急に返事をください。

いつの間にか、公開日が5月1日になっているのはなぜでしょうか？

4月に公開していましたが、公開日を改ざんしただけで対応した気になっているのでしょうか？ただのその場しのぎです。

（令和元年5月12日）

【お返事】

ご指摘いただいたとおり、国は年度の表記について、「平成31年4月1日 新元号への円滑な移行に向けた関係省庁連絡会議申合せ」により取り扱うとしました。この申し合わせからみれば、「市報みなみ魚沼5月1日号は4月中に作成しているのだから、年度表記は令和でなく平成が正しいのではないか」というご指摘が当てはまると考えられます。

しかし、地方公共団体における年度表記の取扱いについては、それぞれの自治体が独自に判断しています。市では、市報5月1日号からは令和表記となるよう編集し発行しましたが、他市町村の広報誌でも5月1日号の記事から「令和元年度」と表記しているものがあります。

また、総務省広報誌「総務省5月号」（5月1日発行）では「令和元年度総務省所轄予算の概要」と題した記事を掲載しており、当市の「令和元年度予算特集号」と同様の扱いです。国、地方公共団体ともに、広報誌一つとっても様々な取り扱いがあるようです。

以上のことから、市では市報5月1日号の表記については、現行のままとさせていただきますので、ご理解くださいますようお願いいたします。なお、ウェブサイトへの掲載については、ご指摘を踏まえて公開日は5月1日に修正し、今後も発行日に統一したいと考えます。

（担当：秘書広報課）

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇兼続公まつりについて

【ご意見・ご提案など】

南魚沼市には、上杉景勝様と直江兼続様というとても有名な武将がいます。それをもっともっと押し出して行ったらどうでしょうか？私は魚沼市に住んでいますが、この祭りの情報は入ってきません。

それと、この祭りを盛り上げるためには、もっと多くの方々を呼んで、皆様に来てもらえるようにすることが肝心かと思っています。

私は先日、上越市にておもてなし武将隊と一義会の方にお会いしました。おもてなし武将隊は、景勝様も兼続様もいらっしゃるようですし、謙信様もゆかりのある方です。

一義会の方は、兼続公祭りに参加したいと言っていました。私はこの2つの隊の方々を呼ぶべきだと思います。

せっかく素晴らしい武将を輩出した市なのですから、もっともっと推すべきです！

そして兼続様だけでなく、景勝様は五大老の一人、もっともっと景勝様も推すべきです！

どうか、ご検討をお願い致します。

(平成 31 年 4 月 30 日)

【お返事】

南魚沼市兼続公まつりにご意見をいただきありがとうございます。

上杉景勝公と直江兼続公は市民に親しまれ尊敬されている当市出生の偉人です。この祭りは、直江兼続公を顕彰し、歴史を通じた都市交流、観光産業の振興による地域経済の発展に貢献することを目的に、官民が参画した実行委員会により運営されています。

祭りの内容を行政から指定できるものではありませんが、いただいたご意見を実行委員会にお伝えします。

(担当：商工観光課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658